

図画工作科学習指導案

庄原市立西城小学校 T 1 高淵 直哉

T 2 掛 照子

1 日 時 平成17年10月21日（金）第2校時

2 学 年 第3学年 19名

3 題材名 大すき西城！ゆめの町 （つくりたいものをつくる・鑑賞）

4 題材について

- 本学級の児童は、図工の学習を心待ちにし、「どんな作品にしようかな」、「早くやってみたい」など、実際の活動においても意欲をもって熱中して取り組むことができる。7月に実施したアンケート調査でも、「ものをつくるのがすき」と9割の児童が感じていることが分かった。また、1学期に学習した造形遊び「発見！見えた見える〇〇に」では、学校生活の中で日頃から見慣れているものに着目し、見方を変えると様々なものに見えることに気づき、関心をもって取り組んでいた。鑑賞の場面では、児童同士がそれぞれの作品を紹介し合い、自分の表現と比べたり、新たな発見をしたり違った見方を感じたり、友だちの表現のよさを認め合ったりするなど、鑑賞の楽しさを味わわせることができた。しかし、全体的には自分が表したいことを自分らしく作品に表すことができたという満足感を十分に味わうところまでには至っていない。また、友だちと協力し、かかわり合いながらテーマに向かって作品に取り組む態度は十分に育っていない。
- 本題材は西城町の未来を想像し、夢をいっぱいにふくらませながらみんなで住んでみたい町を構想し、実際に友だちと協力してつくりたいものをつくったり、鑑賞を通してお互いの作品のよさや発想のおもしろさに気づいたりしていく活動である。自分たちが考えた未来の西城を作品に表す中で、こんな町に住んでみたいという思いをふくらませ、発想したことを生かせるように構想計画を立てる。この活動では、作品に適した材料や用具、作り方を考えていく態度が育っていくと考える。また、共通のテーマに向けて友だちとかかわり合いながら作品を仕上げたり、鑑賞したりする中で、自分なりの作品に対する思いや願い、考え方が確かなものになっていく姿が期待できる。さらに、地域の観光協会や社会教育の専門員の方からのアドバイスや、出来上がった作品の公民館展示などの計画をしていただく中で、見通しをもって意欲的に取り組むことができる題材である。
- 指導にあたっては、まず、児童一人一人の夢や願いをはっきりとさせ、「西城ゆめの町構想プラン」を全員で話し合う活動から始めていく。つくる活動の中では、自分たちが表したい作品に適した材料を選択したり、工夫しながらグループで共同して活動したりしていく。鑑賞の場では、それぞれの作品を紹介し合い、自分の表現と比べたり、新たな発見をしたり、違った見方に気づいたり、友だちの表現のよさを認め合ったりするなど、鑑賞の視点を明確にし、対話を基調とした鑑賞の時間を保障していきたい。

5 研究主題との関連

生き生きと自己表現する西城っ子を求めて ～豊かな発想をし、自己肯定感を高める造形活動を通して～			
I 題材に出合い、思いをふくらませていく工夫	II 自分の思いのままに表現し、つくりだす喜びが実感できる指導・支援のあり方	III 認め合い、学び合う学習集団づくりと評価のあり方	
○「西城ゆめの町構想プラン」を計画する過程において、夢や願いをもとにつくりたいもののイメージをもたせる。 ○ 作品構想マップをもとに話し合い、作品に表したいという意欲をもたせる。	○ 地域の観光協会や社会教育の専門員の方からのアドバイスを、出来上がった作品の公民館展示などの計画をしていただく中で、見通しをもって意欲的に楽しみながら取り組ませる。	○ 夢のある町づくりに向けて、多様な意見や考えを認め合える雰囲気大切にさせる。 ○ 構想マップ・つぶやき・評価カードなど児童一人一人の学びと育ちの変容を評価していく。	
【ことばの教育との関連】 ○ 「作品構想マップ」に、発想したことや願い、思いを書く力を育てる。 ○ 自分の作品に対して、思いや考えをPRカードにまとめ、自分の言葉で伝え合う力を育てる。 ○ 友だちの作品について関心をもち、積極的に意見交流しようとする態度を育てる。			

6 題材の目標

- みんなで住んでみたい夢の町づくりに興味・関心を持ち、作品づくりに意欲的に取り組もうとする。
- どんな町に住みたいのか、自分の思いや考えを持ち、構想をする。
- 発想したことが作品に生かせるように適した材料・用具・つくり方を選択し、工夫しながら制作する。
- つくった作品を鑑賞する中で、自分や友だちの工夫やよさに気づき、お互いに伝え合う。

7 題材の評価規準

ア 造形への 関心・意欲・態度	イ 発想や構想の 能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
① 身のまわりの材料を集め、つくりだす喜びを味わいながら楽しくつくろうとしている。 ② 自分たちの作品のよさが伝わるように紹介したり、思いを伝えようとしている。	① 自分の思いや考えを出し合い、ゆめの町を構想している。 ② 「西城ゆめの町構想マップ」をもとに自分の思いや願いをふくらませている。	① 材料の特徴を生かしながら、工夫して表している。 ② 用具を正しく安全に扱いながら、つくっている。	① 自分や友だちの作品について、鑑賞の視点をふまえ表現のおもしろさやよさなどに気づいている。

8 指導と評価の計画（全9時間）

次 (時数)	学 習 内 容	評 価					
		関	発	創	鑑	評価規準	評価方法
一 (3)	○「西城ゆめの町」づくりに ついて自分の願いや思いを 作品構想マップに書く。 ○「西城ゆめの町の構想プラン」 について話し合う。 ○「西城ゆめの町」づくりに 必要な材料を身近なところ から集める。		○			・ 「西城ゆめの町構想マップ」 をもとに自分の思いや 願いをふくらませている。 ・ 自分の思いや考えを出 し合い、ゆめの町を構 想する。 ・ 身のまわりの材料を集 め、つくりだす喜びを味 わいながら楽しくつくろ うとしている。	行動観察 構想マップ 集めた材料 発言
二 (5)	○ 発想したことが生かせる ように適した材料や用具、 つくり方を選択しながら、 友だちと相談したり協力し たりして、つくりたい未来 の町をつくる。			○	○	・ 材料の特徴を生かしな がら、工夫して表してい る。 ・ 用具を正しく安全に扱 いながら、つくっている。	行動観察 作品
三 (1)	○ 自分たちの作品を紹介し 合い、よさやおもしろさを 交流する。(本時)	○			○	・ 自分たちの作品のよさ が伝わるように紹介した り、思いを伝えようとし ている。 ・ 自分や友だちの作品に ついて、鑑賞の視点をふ まえ、表現のおもしろさ やよさなどに気づいてい る。	鑑賞カード 発言 行動観察 PRカード

9 本時の展開

(1) 本時の目標

「未来の西城」を表した作品を紹介し合い、その作品のよさやおもしろさを味わう。

(2) 観点別評価規準

- 自分たちの作品のよさが伝わるように紹介したり、思いを伝えようとしている。
- 自分や友だちの作品について、鑑賞の視点をふまえ、表現のおもしろさやよさなどに気づいている。

(3) 準備物

指導者 段ボール、共同絵の具、段ボールカッター、紙粘土、カッターマット、紙工用ボンド、BGM、評価カード、

児童 作品「未来の西城」、PRカード、筆記用具、集めた材料

ゲストティーチャー（西城町観光協会、社会教育専門員）

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点		評価規準 【評価方法】
	T 1	T 2	
1 前時の学習を想起し、本時の学習課題を確かめる。	前時までの学習活動を想起させ、本時の学習課題を明示する。	作品全体が見渡せる配置を確認する。	おおむね満足できる状況 自分や友だちの作品について、鑑賞の視点をふまえ、表現のおもしろさやよさなどに気づいている。 【鑑賞カード】
作品を紹介し合い、よさを見つけよう。	西城の未来について表現した作品のPRポイントを確認させ、意欲を喚起させる。	個のつぶやきを必要に応じて、全体へと広げる。	
2 鑑賞の視点を確認する。	鑑賞の視点（色・かたち・キラリ）を確認する。	鑑賞の視点を黒板に掲示する。	
3 友だちの作品を鑑賞する。	鑑賞カードを活用しながら、意欲をもって取り組むように助言する。	書くことに戸惑っている児童には思いを聞き、考えを引き出していく。	
4 自分たちの作品PRを行い、感想を交流する。	感想交流を行う上でいくつかの見方のポイントをわかりやすく提示する。	必要に応じて自分たちの作品のよさや工夫したことがみんなによく伝わるよう	

【作品PR例】 雨の日にも、いろいろなスポーツができるドーム型のスタジアムを作りました。遠くからも目立つように屋根の部分は赤色にしました。 ↓	- 自分たちの作品のよさや工夫したことがみんなによく伝わるように助言する。 - 伝えたいことがはっきりしていない作品PRに関しては必要に応じて助言し、励ます。	に助言する。 友だちの作品のよさを認め、楽しく鑑賞し合える雰囲気を大切にさせる。	
【感想交流例】 - 現在の西城には、このようなスタジアムがないので、あったら楽しくなるし、人もたくさん集まってくると思います。 - 上手に材料を使って屋根の部分を丸くしています。目立つ色を使っているところが工夫しているところだと思います。	- 作品の工夫している点やその作品から感じられる内容面に関して考えたことの両面から感想を伝え合うことを伝える。 - 自分たちと他のグループと違うところや工夫したところなどのよさに気づいたことを積極的に発言させる。 - 自分と違った表現の楽しさを味わわせる。	- 必要に応じて、個のつぶやきを全体へと広げる。 - なぜ、その作品がおもしろいと感じたのか理由も合わせて伝えられるよう助言する。 - 発言に共感するなどしながら、協力してつくった喜びや成就感を十分に味わわせるようにする。	自分たちの作品のよさが伝わるように紹介したり、思いを伝えようとしている。 【行動観察、発言】
5 ゲストティーチャーの考えや意見を聞く。 みなさんが考えた未来の西城には、たくさんの夢がつまっていますね。 ぜひ、地域の方々に紹介して下さいね。	ゲストティーチャー（西城町観光協会、社会教育専門員）の方からの助言や評価が次の活動への意欲につながるよう配慮する。	児童一人一人の思いや願い、つくった喜びや成就感が味わえる雰囲気づくりを支援する。	
6 学習のまとめをする。 - 西城のことがもっと好きになりました。 - 私も将来、こんな西城に住んでみたいです。	感じたことや考えたことを肯定的に評価する。	児童のつぶやきを必要に応じて全体に広げる。	